

令和 6 年度 第 1 回

白石町まち・ひと・しごと創生推進会議議事録

日時：令和 6 年 7 月 25 日（木）19：00～20：25

場所：白石町役場 3 階大会議室

1. 開会【進行：総合戦略課長】

2. 委嘱状交付

3. 会長あいさつ

○会長

皆さんこんにちは。私の方から一言ご挨拶をさせていただきたいと思います。本日は皆様方には大変暑い中、また昼間のお仕事等でお疲れのところ、本年度第 1 回目となります白石町まち・ひと・しごと総合創生推進会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また今年度から新しく委員になられた方におかれましては、委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。この会議の趣旨でございますけれども東京一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくということで取り組んでいるものでございまして、本町では現在第 2 期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定いたしまして、各種人口減少対策に取り組んでいるところでございます。

こうした中で、もうご存知の方も多いかと思いますが、本年 4 月に人口戦略会議というところから、地域別将来推計人口に基づく消滅可能性自治体リストが公表されました。本町は、2050 年までに 20 代から 30 代の女性が半数以下になる消滅可能性自治体に分類されました。県内では玄海町、太良町に次ぐ減少予測がなされております。ただ、若い女性が半減するであろうという一面的な指標をもって自治体を線引きするということは、これまでの地方の人口減少対策に水を差すものでありますので、全国町村会を通じて国に対して遺憾の意を示させてもらったところでございます。

今回の分析ではこのような結果となっておりますけれども、私達が住む白石町には様々な可能性があり、次の世代にも支持される暮らしを生み出すことが可能と考えております。子育て支援や移住・定住支援、人口減少に対応した地域づくり、まちの魅力発信、こういったことに積極的に取り組み、活力のある持続可能なまちを目指していくこととしておりまして町民の皆様にはぜひ郷土に愛着と自信を持っていただきたいと思います。

冒頭で説明ありましたが、本日の会議は第 2 期総合戦略の実施状況と内部評

価、効果検証等行うこととしております。また今年度は来年度からの第3期総合戦略の策定をいたしますので、本日を含めて3回から4回の会議を予定されております。皆様方には忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。大変ご苦労様でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○総合戦略課長

ありがとうございました。

4. 委員の紹介

5. 町担当職員の紹介

6. 白石町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱について

○総合戦略課長

次第の6番目でございます、本日の推進委員会推進会議の設置要綱について事務局の方から説明いたします。よろしくお願いいたします。

○白石創生推進係長

それでは要綱についてご説明をいたします。資料2の方になります。

本日のまち・ひと・しごと創生推進会議は、この設置要綱に基づき開催をしております。第1条に規定しておりますとおり、総合戦略の策定および推進に当たって広く関係者の意見を反映させるために設置をしております。第2条はこの推進会議において審議する事項を定めています。続きまして第3条、推進会議は、委員20人以内をもって組織するとしておりまして、資料1のとおり14人の皆様方に委員を委嘱しております。第4条、委員の任期は3年です。現在の委員の任期は、令和5年度から令和7年度までの3年間となっておりまして、役職交代などによって委員に変更があった場合の後任の方につきましては、前任者の残任期間をお願いすることとなります。続きまして第5条この会議の会長は、白石町副町長をもってあてとなっております。続きまして第6条、招集は会長が招集し、その議長となります。第7条、会議の庶務は総合戦略課で行います。

簡単ですが、要綱と役割についての説明は以上となります。

○総合戦略課長

はい、ありがとうございました。要綱の件ですけれどもご質問等ございませんでしょうか。

7. 協議事項

○総合戦略課長

それでは次第の7番目でございます、協議事項に入ります。ここからは百武会長に議会の議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○会長

それではここからは私の方で議長を務めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。まず、初めて委員になられた方がいらっしゃいますので、協議事項に入る前に、まず総合戦略の説明を事務局の方からお願いしたいと思います。

○白石創生推進係長

それでは、第2期総合戦略の説明を簡単にさせていただきます。お手元の資料の第2期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略の方をご覧ください。総合戦略の策定は、まち・ひと・しごと創生法に基づいています。少子高齢化への対応、人口減少の歯止め、東京圏への人口集中の是正といった課題に対応するためのものとなっております。総合戦略の1ページをご覧ください。

初めに、1趣旨のところです。白石町の人口は平成17年に2万7057人、平成27年は2万3941人と10年間で11.5%と大きく減少しています。ここにはありませんけれども、令和2年の国勢調査では2万2051人でしたので、15年間で18.5%の減少となっております。人口減少が地域経済を縮小させ、さらに人口減少を加速させる負のスパイラルの克服と地方創生に取り組んでおります。この3段落目のところですが、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略は白石町総合計画の人口問題等に関する個別計画でございまして、下の方に図がありますけれども図の黄色で塗ったところが総合戦略となります。

続きまして2ページをご覧ください。2番目の総合戦略の計画期間は令和2年度から令和6年度までの5年間です。続きまして3ページです。4番目の総合戦略の体系図ということで、以下の4つの基本目標を設定しておりまして、その具体的な政策に取り組むことで、人口ビジョンの将来展望の達成に努めることとしております。オレンジ色で基本目標①番から④番目でございます。この目標に基づいて左色の緑色で囲ってある白石町人口ビジョンの将来展望の達成を目指していくこととなっております。具体的には緑色の四角の中の2番目ですけれども、人口将来展望としまして、一つ目が人口減少を悲観せずに様々な施策により人口減少のスピードを抑える。二つ目が目標人口2040年に1万6061人、2060年に1万1137人とする。三つ目が、合計特殊出生率を2040年までに1.8、2060年までに2.0に上げることが目標となっております。これが現在の目標となっております。後ほどご説明いたしますけれども、この人口ビジョンにつきましては最新のデータを基にして推計をし直す作業をしているところで

す。

続きまして9ページの方をご覧ください。9ページの四角で囲ってある、各基本目標における数値目標や重要業績評価指標(KPI)ですけれども、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的な施策の実行により達成すべき目標を記載しています。したがって、民間企業や個人による雇用など町では把握できないものは対象外としています。

そういったことでこれから説明をいたします実施状況の数値は、総合戦略に基づく事業が対象としております。10ページ以降が、基本目標ごとの数値目標や目指すべき方向、具体的な施策とKPIとなります。詳細については後ほどご覧いただければと思います。繰り返しになりますけれども、現在のこの総合戦略は令和6年度までとなっ

ていますので、来年度からの令和7年度からの新しい総合戦略を本年度策定することとしております。簡単ですが説明を終わります。

○会長

ただいまの説明についてご質問等ありましたらお願いします。

それではこれより協議事項に入っていきたいと思います。(1)の第2期総合戦略の実施状況について、と(2)の第2期総合戦略の内部評価についてあわせて協議をしたいと思います。資料はA3の資料3と資料4です。ページ数が多いですので、①から④の基本目標ごとに区切って確認していきたいと思います。まず基本目標①本気！やる気！元気！しろいし！に入ります。1ページから4ページまでです。事務局の方から説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

私の方から第2期総合戦略の令和5年度実施状況と令和2年度から5年度までの担当による内部評価についてご説明します。それでは資料の資料3の1ページと資料4の1ページをご覧ください。こちらの資料3と資料4のページは連動しておりますので併せてご覧ください。

まず基本目標①の1、企業誘致や企業等による雇用の確保についてです。KPIの1つ目は出店数です。5年間で企業による出店数3店の目標に対し、令和5年度は0店、4年間の合計は1店となっております。事業実績として、白石町地域商業活性化支援事業の一環として、公募を2回実施しました。問い合わせは数件あるものの、申請には至っておりません。担当による内部評価は申請実績がなかったため、あまり進捗していないとしています。今後の方針は、事業の継続としています。問い合わせや相談は毎年あっているため、引き続き商工会と連携しながら支援を行っていきます。続きまして、KPIの2つ目は、企業を誘致するための候補地の確保です。数値目標の5年間で1ヶ所に対し、令和5年度実績が0、4年間の合計も0となっております。事業実績として製造業などの企業の受け皿となる用地の確保はできていないものの、本町に進出の検討をされているIT系企業に対し、町内居抜き物件を5件紹介しております。担当による内部評価は、現在調整を行っている企業があるため、進捗しているとしています。今後の方針はさらに発展させるとしています。創業に向けて協議を継続していきます。

次に2ページをご覧ください。基本目標①の2、新規就農者および農業後継者の育成・確保についてです。KPIの1つ目は新規農業従事者数です。5年間で125人の目標に対し、令和5年度は26人、4年間の合計は87人となっております。事業実績として、新規就農者の確保および支援として、活用できる補助事業や資金の紹介、各種セミナーや研修会などを実施しました。担当による内部評価は、高校行事との組み合わせでセミナーが開催でき、給付金に関しては、経営技術、農地関係、資金など、それぞれの担当機関がアドバイスを実施できたため、進捗しているとしています。今後の方針は、事業の継続としています。今後も、関係組織と連携をとり、給付金受給者に対し、アドバイスや指導を行っていきます。次にKPIの2つ目は、しろいし農業塾卒

業者の農業従事者数です。5年間で15人の目標に対し、令和5年度実績は0人、4年間の合計は3人となっております。こちらの農業塾生は県外から移住された方が対象となっております。事業実績として、いちごトレーニングファームでは、7名の研修生にイチゴの栽培技術の研修を行っております。担当による内部評価は、定員の3名を超える5名の応募があったため、進捗しているとしています。今後の方針は、事業の継続としています。今後も関係組織と連携をとりながら定員以上の応募を目標に、募集活動に取り組みます。次にKPIの3つ目は、農業従事者(被雇用者)数です。5年間で25人の目標に対し、令和5年度が1人、4年間の合計は5人となっております。こちらの人数は町内農業法人への新規雇用者数で実績は町が把握している人数となっております。担当による内部評価は進捗しているとしています。今後の方針は事業の継続とし、今後の事業推進のため、町の窓口として周知していきます。

次に3ページをご覧ください。基本目標①の3、新しいことへ挑戦する人への積極支援についてです。KPIの1つ目、起業創業者数です。5年間で3人の目標に対し、令和5年度は9人、4年間で合計25人となっております。事業実績として、商工会と連携し、創業塾を開催しました。商工観光課窓口だけでなく、商工会と連携した支援を行うことで実績に繋がっております。担当による内部評価は進捗しているとしています。今後の方針は、事業の継続としております。目標を達成していますが、町内の事業所数は年々減少しており、引き続き創業希望者への支援は必要としております。次にKPIの2つ目は璃の香の作付農家数です。5年間で3戸の目標に対し、令和5年度は11戸、4年間の合計は44戸となっております。事業実績として、苗木購入者に対し、購入補助や作付講習会を実施しました。また、販路拡大のため、町内飲食店へ璃の香の提供を行いました。担当による内部評価は順調に結実し、道の駅の出荷や町内飲食店へ提供を実施できたため、進捗しているとしています。今後の方針はさらに発展させるとしています。6年度は国庫事業を活用し、販路拡大を行っていきます。

次に4ページをご覧ください。基本目標①の4、ふるさとで活躍する人材の育成についてです。KPIは企業等と学校が連携する取り組み数の数です。目標は5年間で20回としています。令和5年度の新規実績は1回、4年間の合計は14回です。各年度の実績数値は新規に行ったものを計上しています。事業実績として、令和5年度は放課後起業クラブでビジネスの事業計画体験を実施しました。また、職場体験学習については、前年度より10事業所多い67事業所で173名の学生が体験学習をされました。担当による内部評価は進捗しているとしています。高校生との連携した活動や職場体験学習により、地域理解など良い機会となっているためです。今後の方針は事業の継続としています。引き続き学校と連携して活動の機会を広げていきます。基本目標①についての説明は以上となります。

○会長

ただいま①についての説明でございました。これについてご質問はございませんでしょうか。どんなことでも結構ですのでお願いいたします。

○委員

1 ページ目だったかな。申請がゼロだったという話があったと思うのですが、申請がゼロだった理由というものは考察されているのでしょうか？

○会長

1 ページ目のところで申請がゼロだったという原因について考察されているのかというご質問でございます。事務局の方からお願いします。

○商工観光課長

失礼します。1 ページ目(1)働く人たちに優しい空間作りの、令和5年度の事業実績ということで商工観光課所管の分ですね。白石町地域商業活性化支援事業は、空き家を活用されて新規出店を行いたいと言われる方々に対しての県の間接補助事業でございます。広報誌やホームページで公募を行いました。申請がなかった理由でございますけど、やはり新型コロナウイルスの影響、そして原材料価格高騰などですね。やはり新規出店にはなかなか踏み込んでいただけないといいますかそういう現状があるのかなと担当課としては思っているところです。以上でございます。

○委員

はい、ありがとうございます。

○会長

他にございませんか。

○委員

しろいし農業塾について質問させていただきます。毎年研修生の方がすごくたくさん応募されている印象ですが、卒業者の農業従事者主従事者数が0人ということで、これは卒業されたら町内ではなく県外で移住をされているということになるのでしょうか。

○農業振興課長

ご質問の件白石農業塾の卒塾者の従事者数ということですが、今白石町ではいちごトレーニングファームということで、町内新開地区にありますいちごハウスを利用して、イチゴの栽培をする農家を育てるというような事業を行っております。このトレーニングファームの研修生の募集をいたしまして、そのうち県外から応募されて、白石町内に移住した方を農業塾ということで認めまして、住居の支援等を行っております。この5年度の卒塾者についてはですね、県内の武雄市から通われていましたので、白石町内の中ではなかったということで、ここは0になっているということです。以上です。

○委員

わかりましたありがとうございます。

もう1点ですね新規農作物の作付拡大ということで、璃の香とナナシキブというのがあって、このナナシキブっていうのが何の作物かわからないので教えていただけた

らなと思います。

○農業振興課長

璃の香については初めての方もいらっしゃると思いますのでご紹介をいたしますと、レモンの一種で、国の独立行政法人の農研機構の方が開発をいたしましたレモンの一種になります。大体ミカンと一緒な感じですね。3年ぐらい育成までかかりますので、今年あたりから璃の香の方も本格的に出荷ができるようなところになってきております。これに加えてですね、今年の令和6年度からナナシキブに対しても補助を行おうとしているところです。このナナシキブにつきましては菜の花ですね。町内菜の花ファームということで、複数の農家で研究会を作っておりますけれども、町内で菜の花の栽培をしましてそれを刈り取りまして、今度精油作業をするというようなことで、菜種油ということで出荷をしますが、白石町産ということにするにはちょっとロットが足りないと、まだまだ栽培面積が足りないということが、この菜の花ファームさんの方から相談がありまして今後、規模拡大をしてもしていただいて、菜の花の面積、また刈り取り量を増やして白石町産の菜種油ですね。それと菜の花が増えますと、蜂蜜も増えます。蜂蜜も白石町産として出せる、あと一つは、菜の花を刈り取った後には田んぼの方にすき込みますので、地力増進にもなりますので一石三鳥ということで、6年度から推進を始めるようにしております。以上です。

○会長

よろしいでしょうか。ありがとうございます。他にございませんか。続いて基本目標②来たか！住みたか！よかところ！しろいし！に入ります。5ページから7ページまでです。事務局説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

それでは5ページをご覧ください。基本目標②の1、白石町の魅力発信についてです。KPIはホームページアクセス件数です。目標は令和6年度年間52万8000件であるのに対し、令和5年度は年間64万3330件の実績となっております。事業実績としてSNS等の活用により、アクセス数が減少した前年度よりアクセス数は回復しております。また、KBCふるさとWishによる事業で福岡県・佐賀県全域に、テレビやラジオを使い白石町の魅力発信をしました。観光関連では、道の駅情報発信コーナーにて観光パンフレットの配置、季節に合わせた町内観光情報の紹介、デジタルサイネージを活用し、町内の観光情報の発信を行いました。その他に、KPIには含まれませんが、在京ふるさと会について、特産品の提供や交流を通じて関係人口創出の機会を広げました。担当には内部評価は一定の進捗があるとしています。道の駅に設置している観光パンフレットは補充の頻度が高いため、町のPRに寄与していると思われます。また、テレビやラジオでの情報発信については、視聴者からの問い合わせが多くあったため、一定の効果はあったと考えられます。今後の方針は観光関連に関してはさらに発展させるとし、町内観光情報を紙ベースでの紹介だけではなく、二次元コードによる情報発信を行います。また情報発信については、目的やターゲットを明確にし、効率的に行います。また、在京ふるさと会については、引き続き関係人口創出の機会の

ために開催を支援していきます。

次に6ページをご覧ください。基本目標②の2、定住促進、移住支援についてです。KPIの1つ目は、空き家・空き地バンク登録件数です。目標は5年間で40件です。令和5年度の実績は10件、4年間の合計は50件となっております。事業実績として登録された10件中の7件が有効利用されました。登録物件を増やすために、広報で事業の周知を行っております。担当による内部評価は、一定の進捗があるとしています。今後の方針は、事業の継続とし、空き家対策、移住定住の推進のために継続して事業を推進していきます。次にKPIの2つ目は、移住・定住者数です。目標は5年間で650人です。令和5年度の実績は99人、4年間の合計は203人となっております。事業実績として、ずっと住まいる応援事業補助金に21件の申請があり、活用されています。住宅取得者への支援は令和4年度より実施された事業ですが、認知されてきた令和5年度は実績数が増えております。移住者支援「佐賀暮らしスタート支援事業」、「東京圏在住者移住支援事業」については、申請はあっていませんが、問い合わせは随時あっています。こちらは申請要件により、6年度に申請をされる見込みです。担当による内部評価は、事業開始2年目となり、情報が定着してきているため、進捗しているとしています。今後の方針は、事業の継続としています。重要項目である人口減少を抑制するため、県外からの移住を促すために事業を継続していきます。またKPIには含まれていませんが、生活排水処理施設の整備を促進し、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽設置整備事業を行っています。他に、通学通勤者の利便性向上のため、白石駅周辺の混雑解消、休憩室などの利活用について協議中です。担当による内部評価については、一定の進捗があるとし、今後の方針は、公共用水域の水質保全を図るため継続していきます。

次に7ページをご覧ください。基本目標②の3、地域観光資源の再発見についてです。KPIの1つ目は観光入込客数です。目標は令和6年年間目標で38万6600人となっております。令和5年度実績は116万7353人で、4年間の合計は301万1418人となっております。事業実績として、佐賀県観光連盟の佐賀型観光プロダクト造成チャレンジ事業補助金を活用したしろいし緑の芸術祭、Farmers Table 2024など様々なイベントの開催し実績に繋がっております。担当による内部評価は、開催イベントにより町内町外からの多くの来訪者に繋がったため、進捗しているとしております。今後の方針は事業の継続とし、緑の芸術祭関連については、今後、観光協会での事業移管となり、さらに周遊集客内容を検討していきます。次にKPIの2つ目は観光ルート数となっております。目標は5年間で3本でしたが、令和5年度実績は6本、こちら5年度時点のルート総数は9本となっております。この実績数値は各年度で作成した観光ルートの数となっております。また(3)、県事業で設置のシェアサイクルに関しては運営会社が撤退されたため、現在シェアサイクルは行っておりません。そのため町内サイクリングコースマップも撤去しております。担当による内部評価は、運営会社の撤退によりシェアサイクル事業を行っておらず、サイクリングコースマップを撤去しているため、進捗していないとしております。今後の方針は事業内容の見直しとし、例として、予約制観光タクシーの導入などを検討していきたいと思っております。また、KPI

には含みませんが、須古城跡の史跡指定に向け、地形測量や発掘調査を文化庁や県などの指導を受け実施しています。発掘調査現地説明会では142名の参加、須古城跡出前講座などについては、町内県外の各団体に対し12回、延べ545名の方に参加していただいております。担当による内部評価は一定の進捗があるとしています。須古城跡の史跡指定に向け、おおむね予定通りの進捗のためです。今後の方針は事業を継続していきます。基本目標②についての説明は以上となります。

○会長

事務局からの説明終わりました。ご質問をお受けしたいと思います。どなたかございませんか。よろしいですかね。はい。それでは次に行きたいと思います。次は基本目標③うれしい！楽しい！大好き！しろいし！です。8ページから11ページまでに入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

失礼します。私からは基本目標3についてご説明します。資料3、4ともに8ページをご覧ください。では、1の結婚推進対策の充実に入ります。まず、(1)婚活サポート事業の拡充についてです。KPIに5年間の成婚数160組を設定しています。令和5年度は25組、令和2年度から5年度の累計は54組となりました。令和5年度の25組中1組が婚活サポート事業、24組が、後述の結婚新生活支援事業によるものです。婚活サポート事業では、4年度間で13組が成婚しています。本事業については、婚活イベントを定期的開催していることを踏まえ、一定の進捗があるとしています。今後も事業を継続し、引き続き出会いの場を提供します。

続いて、(2)の結婚新生活支援事業です。結婚に伴う新生活の経済的な不安を軽減し、結婚しやすい環境作りを推進することを目的として事業を行っています。夫婦ともに39歳以下の若年新婚世帯を対象に、住宅取得、賃借、リフォーム、引っ越しにかかる費用の補助を行いました。本事業については、年度を追うごとに申請する世帯も増加しているため、進捗しているという評価をしています。令和6年度から、家具家電購入費用、新婚旅行費用を対象経費として加え、新しい対象経費と従来の対象経費のいずれかを選択できるように拡充したため、今後も事業を継続します。結婚推進対策の充実については以上になります。

続いて2の出産支援に移ります。資料はともに9ページをご覧ください。KPIは、合計特殊出生率を平成30年の1.41から令和6年に1.50まで引き上げることとしています。(1)不妊治療制度の拡充に入ります。令和3年度までは「佐賀県不妊治療支援事業及び佐賀県はじめまして赤ちゃん応援事業」の対象者の医療治療費助成、令和4年度からは健康保険適用外の治療費に対して、治療費助成を実施しました。令和5年度までに9人が出生しています。本事業については、不妊治療が保険適用となつてからの本町への申請件数から、保険適用外の治療を実施する人が少数であること、また、先進医療については、令和5年度から佐賀県で助成を始めたため、町では助成を実施していないことから、一定の進捗があるとしています。令和6年度の申請件数を踏まえ、事業内容の見直しを行います。また、(2)の多子世帯への助成では、多子世帯の保

育料軽減を継続させました。令和5年度の軽減実績は22件です。本事業については、対象世帯の保育料軽減の実績があることから、進捗しているとしています。今後も事業を継続し、多子世帯への軽減措置を図ることで、子育て支援に寄与します。出産支援は以上です。

続いて3の子育て支援に移ります。資料はともに10ページをご覧ください。KPIには、就学前児童親と小学生親の子育ての感じ方満足割合を令和6年度までにそれぞれ45%、40%まで引き上げることとしています。令和5年度に行った調査による感じ方満足割合は、就学前児童親が43%、小学生親が36%でした。出産子育て支援においては、妊婦相談、母子手帳アプリの利用促進、乳幼児全戸訪問、子供の医療費助成、子育て相談室の実施、病児病後児保育の実施、一時預かり事業や育児サロンの実施、小学6年生、中学3年生の給食費無償化、子ども家庭総合支援拠点の設置等を行いました。いずれの事業も事業実績があることから、進捗しているとしており、今後も事業を継続します。なかでも、(4)の子育てに関するワンストップ相談体制の整備については、令和8年度までに保健福祉課内にこども家庭センターを設置し、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを両輪として、切れ目もれなく対応するため、さらに発展させます。また、(5)の公園施設の充実については、安全で誰もが訪れたいような公園になるよう、この4年度間で公衆トイレの改修、遊具の点検や補修、植栽等を行っています。本事業について進捗はありませんでしたが、安全面を考慮し、適切な管理を行う必要があるため事業を継続します。子育て支援は以上です。

最後に4の教育環境の整備です。資料はともに11ページをご覧ください。KPIをコミュニティスクールの導入継続を町内の全小中学校とし、達成しています。また、教育環境の整備についても同様に、町内の全小中学校を設定していましたが、令和5年度までで、町内の全中学校となっています。(1)の教育環境の整備については、今年度の新設白石中学校のスムーズな開校に向け、改装増築や子供たちと保護者への説明を行いました。また、有明の新設小学校開設に向け、「新しい学校づくり準備委員会」を組織し、協議決定を進めました。本事業については、今年度4月に新設白石中学校を開校させたこと、有明小学校開校に向けて新しい学校づくり準備委員会を組織したこと、白石地域新設小学校の基本構想を策定したことから、進捗しているとしています。今後も事業を継続し、令和8年度の有明小学校、令和12年度の白石地域新設小学校開校に向けて再編を進めます。また、(2)のコミュニティスクールの導入継続についてです。本事業については、令和5年度に新型コロナウイルス感染症の影響により数年開催できていなかった学校運営協議会を開催し、各協議会の取り組み状況等についての情報交換ができたため、進捗しているとしています。今後も事業を継続し、コミュニティスクールの内容の充実を図るために、毎年度、代表者会議を開催し、情報交換を行っていく予定です。その他詳細につきましては、お手元の資料にてご確認ください。基本目標3については以上です。

○会長

はい。ただいま基本目標③についての説明でございました。ご質問ございましたらお願いします。よろしいですかね。はいそれじゃないようでございますので、最後、

基本目標4つながる！温もる！かがやく！しろいし！です。12ページから14ページに入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

次に12ページをご覧ください。基本目標④の1、町民協働によるまちづくりについてです。KPIの1つ目は、地域づくり協議会の設立数となっております。目標は5年間で8ヶ所です。令和5年度の設立は0、4年間の合計は2か所となっております。事業実績として既に設立している須古地区、六角地区でのイベント活動に参加し、フォローアップを行いました。また、設立に向けた準備委員会が有明地区で発足しております。毎月準備委員会メンバーやファシリテーターが参集し、実証実験に向けた協議を行っております。担当による内部評価は、設立に向けた活動を行っているため、進捗しているとしています。今後の方針は、町内全域に設立を目標としているため、事業の継続としております。KPIの2つ目は、NPO法人の設立数です。目標は5年間で3件です。令和5年度の設立は0、4年間の合計は2件となっております。こちらの施策に関しまして、町独自の「地域づくり団体設立・活動支援事業」という補助事業がございます。こちらを須古地区子どもくんち、六角地区健康ウォーキングラリーなどで活用していただき、支援を行っています。また、さが未来アシスト事業として、SAGA こだわりマルシェキャラバン実行委員会の支援を行いました。担当の内部評価として進捗しているとしています。今後の方針は引き続き協働を行い、事業を継続していきます。

次に13ページをご覧ください。基本目標④の2、安全安心で快適な住みよいまちづくりについてです。KPIは自主防災組織の組織率です。目標は5年後に100%となっており、令和5年度は44.9%、全部で27組織となっております。こちらの数値は、町内全世帯数における自主防災組織への加入世帯数の割合となっております。事業実績として、組織率向上のために、地区公民館、老人会等に対して、防災出前講座を実施しております。担当の内部評価は、新たに2つ組織が立ち上がったため、進捗しているとしています。今後の方針は事業の継続とし、防災講話などに出向き結成の推進を行っていきます。また、KPIには含みませんが、担当課において住宅の耐震改修事業や高齢者に係る各種住宅改修などを実施し、自然災害に備える快適に暮らす住まい作りを支援しています。担当の内部評価は一定の進捗があるとしています。今後の方針は、事業の継続とし、自然災害に備える住まい作り、高齢者が安心して生活できる住まい作りを支援していきます。

次に14ページをご覧ください。基本目標④の3、誰もが活躍できるまちづくりについてです。KPIの1つ目は、健康体操サロン数です。目標は令和6年度までに35か所としております。令和5年度は総数29か所となっております。事業実績として、出前講座やサロン立ち上げ支援のために専門職を派遣し、サロンの継続支援を行いました。担当による内部評価は、一定の進捗があるとしています。今後の方針として、高齢化が進む中、介護予防が図られ、生涯現役として活躍することは、豊かな人生、まちづくりに必須であるとし、事業を継続していきます。KPIの2つ目は、シルバー人材センターの年間登録者数となっております。目標は5年後に120人とし、令和5年

度時点では、総数 107 人となっております。補助金の交付などにより運営を支援していますが、新規会員の確保に苦慮されている状況が続いております。その他に KPI には含まれていませんが、女性活躍の推進について女性団体連絡会として、自治公民館単位で女性役員の創出や、各審議会への女性役員の登用といった目標を掲げて活動されております。事業実績として、令和 5 年度時点で、各審議会の女性委員の割合が 134 人中 53 人で、39.6%となっております、この数値は県内 1 位の実績となっております。引き続き支援を行ってまいります。基本目標④についての説明は以上となります。

○会長

基本目標④についての説明でした。ご質問ございましたらお願いします。よろしいですかね。それではないようでございますけども、全体を通してこれは言い忘れたとか聞き忘れたとか、あればお願いします。何でも結構です。

○委員

4 番目の方に繋がるかよく理解できてないですけども、農地水に関して全くここに関係があることは 1 つも書いてないのですが、それとやっぱり別なのでしょうか？私が白石に住んでいて、一番考えさせられるのはそこなのですけども。

○会長

総合戦略についてですね、農地水活動も触れるべきではないというご意見でございますけれども、このことについて、事務局からありますか。

○総合戦略課長

担当課の者はおりませんけれども、私の方からでございます。まち・ひと・しごと創生総合戦略でございますけれども、基本的には人口減少問題に特化したというところになりますので、委員がおっしゃるように、住環境という意味ではですね、もちろん人口減少問題とか繋がってまいります。ここでテーマにしているところがですね、直接起因するという部分が主になっているので、今回、総合戦略の方にはですね、ちょっと計上してないということになりますけれども、またですね、次の 3 期以降の総合戦略において、そのあたりも含めながら事務的な検討をさせていただきます。

○会長

他にございませんか。それでは質問のないようでございますので、疑問点等あれば後でも結構ですので事務局の方に申し出ていただきたいと思います。それでは続きまして、協議事項(3)の第 2 期総合戦略の効果検証シートについてです。事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

それでは効果検証シートについてご説明させていただきます。資料は右上の方に提出物用と書いてあります 4 枚つづりの紙とですね、それともう 1 枚下の方に二次元コードが付いた 1 枚紙と 2 種類ございます。初めに 4 枚つづりの資料の方をご覧ください

い。こちらの資料の方でご説明をさせていただきます。委員の皆様には先ほど説明いたしました令和5年度の実績と、各部署によるこれまでの内部評価を踏まえまして、効果検証をしていただきたいと思います。大きく2点わかれております。まず1点目が、目標ごとの評価です。事業評価の欄にA、B、Cのどれかを記入いただきます。AはKPI達成に有効であった、Bは有効であったとは言えない、Cはその他です。令和6年度の実績が含まれていませんので、KPIが達成するかどうかは現時点ではわからない部分がありますが、KPIの達成度合いや目標達成のために合致した取り組みであったか、そういった点から判断をしていただきたいと思います。なお、施策に対するKPIがないので評価が難しい場合などはその他を選択してください。また可能でしたら、ABCの評価をされた理由を意見等の欄にご記入いただけたらと思います。ご覧いただいていますように、具体的な施策の数が41ございます。大変恐縮ではございますけれども、どうぞよろしくお願いをいたします。最後のページにございますけれども、真ん中ほどに2番目に総評という欄がございます。ここにつきましては全体を通しての自由意見をご記入ください。第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の際に参考意見とさせていただきます。ここはどんなことでも結構です。どうぞよろしくお願いをいたします。先ほどもう1枚、二次元コードがついた紙もお配りしておりますけれども、この二次元コードを読み取っていただきますとスマホから回答ができるようにしております。この紙ご記入いただくか、スマホから直接回答いただくか、どちらかやりやすい方をお願いしたいと思っております。ここに書いております通り、回答期限を8月2日(金)までということとさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。簡単ですけども説明の方を終わります。

○会長

はい。効果検証シートの提出についてのご説明でございます。ただいまの説明についてご質問等ございませんでしょうかよろしいですかね。期限が8月2日までということとでございます。皆様どうぞよろしくお願いをいたします。それでは協議事項最後ですね、(4)第3期総合戦略に向けてです。事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

それでは第3期の総合戦略に向けてということとご説明いたします。こちらの方は資料の方はございません。まずもって、総合戦略はまち・ひと・しごと創生法に基づいて国の総合戦略を勘案して策定することとなっています。現在の国の総合戦略ですが、名称がデジタル田園都市国家構想総合戦略となっています。期間が令和5年度から令和9年度までの5年間です。対象となる施策としまして、ほぼ同じですが1番目が地方に仕事をつくる、2番目に人の流れをつくる、3番目が結婚・出産子育ての希望をかなえる、4番目が魅力的な地域をつくる。以上4つの目標にデジタルの力を活用して地方創生を進めていくこととされています。こういったことを踏まえまして本町の第3期総合戦略は、期間を令和7年度から令和10年度までの4年間と計画しておりまして、具体的な政策をこれから検討していきいく予定となります。また、第3期

総合戦略の大きな目標となる人口ビジョンにつきましては、現在専門機関に委託し最新の人口データを用いて推計をし直しております。次回以降の会議で改定後の人口ビジョンをお示ししたいと思っております。これから8月から9月にかけて、素案作りに入りたいと思っております。まずもって庁舎内で具体的な政策や目標数値のKPIなどを検討いたしますけれども、その際は国・県の動向や、委員の皆様から提出していただくご意見等を参考にさせていただいて進めていきたいと思っております。第3期の総合戦略金の策定に向けては以上となります。

○会長

ただいまの説明についてご質問等ございませんでしょうか？すみません私からですが、最終的に策定完成する月というのは何月が目標ですかね。

○白石創生推進係長

最終ですね、今年度といいますか年明けの1月か2月に策定というか完成ですか。

○総合戦略課長補佐

最終稿を1、2月くらいまでに仕上げたいと思います。

○総合戦略課長

最終の成果物としてはもう2月頭にはしないといけない。

○会長

それでは2月頭完成を目標に今後、皆さん方をお願いしていくということですね。そういったことで皆さん方、お忙しい中だと思いますけれどもよろしくお願いします。何か他に質問はありませんか。

○委員

先ほど白石創生推進係長の説明にもありましたが、デジタルをどう活用するか、そのデジタルってどういう意味のデジタルなのでしょうかね。そこをちょっと結構キーワードで、政府がもうデジタルとかDXとか、何回も言っていますが、どういう意味でデジタルなのかちょっと気になってですね、私が思うデジタルとは違うような気がして。

○白石創生推進係長

国の現在のデジタル田園都市国家構想総合戦略を見ておりますと、大きな施策の、白石町でもあります4つの大きな目標は同じでございましてそこにデジタルの要素を加えて施策を取り組むということになっております。具体的には、マイナンバーキャッシュレス、スマート農業、あるいはデジタル人材、教育の面でのDX推進等が具体例としては掲げてあります。

○委員

デジタルを使うと人がいらなくなってしまうですね。そうするとこの逆行するのではないかって、ちょっと私そっちを懸念していてですね。

○総合戦略課長

雇用の面ではおそらくそうだと思います。ただ、行政機関が進めていく住みよいまちという意味では、やはりキャッシュレスサービスであったり、公共的サービスの ITC やあるいは教育環境であったりですね、これも ITC ということは、やはり進めていくべきものではないのかなという意味合いでこういったところでデジタル田園都市という言葉が国の方から出てきて総合戦略の方に織り込んでくださいというような内容なのだと理解しております。当町は農業が基幹産業でもあるわけですが、例えばそういう面につきましても生産性の面でスマート農業ですとかそういった側面もございまして、そういった全体的なところを捉えた上で、やはり町民の皆さんが住みよいまちという意味ではないかと私はちょっと認識しております。

○委員

はい、わかりました。ちょっとそうした場合に、いかに皆さんたちが町民の皆さんたちがデジタルを使えるかどうかということがキーになると思いますが、そういった普及に関して、多分今ここで第2期でも、そういうデジタルの普及に関して、ユーザー側からの観点から、それを広げるっていうところ。何か施策が見当たらないなって気は、ちょっと薄々感じていましたが、そこをちょっと何かすべきところかなというちょっと今、私が思い立ちましたがぜひ、次に生かしていただければと思います。以上です、ありがとうございました。

○会長

よろしいですか。他ございませんか。はい。それではさっき、お話ありましたように、2月完成に向けてですね、皆さん方のご協力も今、どうぞよろしくお願いをいたしたいと思います。以上で議事の方協議事項の方はですね終わりとさせていただきます。この後進行は事務局にお渡しをいたします。

8. その他

○総合戦略課長

ありがとうございました。それではその他の項に移らせていただきますけれども、先ほどより話がありますように役場内部の評価ですとか、皆様の効果検証の結果を踏まえまして、第3期の総合戦略の策定に入らせていただきます。それと KPI の検討、人口ビジョンの状況報告を予定しております。そういったことから白石町でこれをやった方がいいとか、そう思われる施策とかございましたら何でも結構ですので効果検証シートの意見欄にご自由に書いていただければと思います。先ほどよりですね、皆様の方に書き入れてくださいと申しておりました今後効果検証シート提出用というのがございますけども、これはおそらく、私もちょっと見てみましたが、今日ぱっと LOGO フォームの方で作りましたけれども、こちらの方が二次元コードをかざしていただいてスマートフォンで入力していただいた方がおそらく簡単じゃないかなと思っております。よろしければ記述の話もございまして、よろしくお願いしたいと思います。この会議でございすけれども議事録をホームページで公表しており

ます。公表に当たりましては皆様の氏名等を出しません。全て委員という表記で出していきたいと思います。また数値とか語句の言い間違いを修正いたしまして、皆様に確認のために会議録の方ですね、お送りしたいと思います。その後に公表をしたいと思っております。それと事務局の方から最後になりますけれども、次回の会議ですね9月30日(月)ということで予定をしております。この時間帯でよろしいでしょうか。19時からということで、予定をしたいと思っております。事務局の方からは以上でございます。皆様の方から最後に何かございましたら伺いいたします。よろしいでしょうか？

9. 閉会

○総合戦略課長

他になれば、本日は長時間にわたってご協議いただきまして誠にありがとうございました。これをもちまして令和6年度第1回白石町まちひとしごと創生推進会議閉会させていただきます。お疲れ様でした。